

地域共創人育成Project

高い知性と、すぐれた人格を備え、心身ともに健全で人間性豊かな人材の育成をめざす

「地域を共に創るハート」

- ★人とつながって生きる力
- ★自己の未来を切り拓いていく力
- ★地域社会の今と未来に関わる力

これからの社会に対応した
魅力ある授業

「総合的な探究の時間」

- ・地域企業と協働した魅力探究プログラム

「EAST国際交流基礎」

- ・国際交流の基盤スキル習得プログラム

「データサイエンス」

- ・データを活用した地域課題解決力
育成プログラム

3年生
～「探究」の実践 — よりよい地域を創る
アクションを自ら起こす～
地域の中から新しい価値を創造する

「EAST地域探究」

- ・地域探究アクションプログラム

「EAST国際交流」

- ・島根大学留学生との交流プログラム

「EASTプログラミング基礎」

- ・「Ruby」を活用したプログラミング学習

2年生
～「なぜ」「どうして」をもとに
地域と協働し、課題探究に挑戦する～
地域とつながり探究する
地域とともに挑戦する

人生の「ロールモデル」と
なる魅力ある「大人」との
出会い

「東高カフェ」

- ・生徒自身が創造する出会いの場

1年生
～「なぜ」「どうして」という「学びのタネ」をもつ～
地域に関心を持つ
地域の価値を知る

「総合的な探究の時間」

- ・大学の学問の魅力探究プログラム
- ・MATSUE魅力探究プログラム

嵩の嶺会

協働して生徒の学びを支えるコンソーシアム

中小企業家同友会

東雲会

松江商工会議所

松江市

島根大学

P T A

1 地域と連携したカリキュラムの開発

3年間通した学びの展開 ～地域を「学びのフィールド」として生徒たちの力をのばす～

1年生
(全員対象)

～「なぜ」、「どうして」という「学びのタネ」をもつ～
地域に関心を持つ。
地域の価値を知る。

2年生
(全員対象)

～「なぜ」、「どうして」をもとに地域と協働し、課題探究に挑戦する～
地域とのつながりを探究する。
地域とともに挑戦する。

- ・「探究サイクル」の実践
⇒ 課題研究に必要な力の向上
- ・自分のライフデザインをより深く考える力
⇒ 将来の「アクション」につなげていく
- ・協働する企業等の課題探究を通して、
地域社会の課題を探究する

3年生
(選択授業)

～「探究」の実践 — よりよい地域を創るアクションを自ら起こす～
地域の中から新しい価値を創造する。

1 地域と連携したカリキュラムの開発

★「地域の大人と学ぶ」継続的な学びのサイクルの確立



①企業等との
ミーティング



②地域の企業・団体の
魅力や課題を考察



③考察結果の発表



④探究課題の設定

★主体的に地域と協働する意識の高まり

「企業等の課題の探究」を通して「地域課題を探究」する。



＜生徒の変容＞

- ・2年生の成果発表会後も、授業でのつながりを活かし、主体的に地域とつながってプロジェクトを始める
- ・地域貢献の活動への主体的な参加

1 地域と連携したカリキュラムの開発

今年度開講 EAST地域探究 (学校設定科目) (選択者履修)

～「探究」の実践～

「社会の課題」を
「自分事」として探究し、
自らの進路や具体的なア
クションにつなげる。

	探究テーマ
1	「今だからこそライブハウスへ！音楽で地域を元気に」
2	「島根の食衰退を止めるために」
3	「小・中学校の読書離れを改善する」
4	「地域の美容室の活性化」
5	「空き家をみんなが使えるスペースに！！」
6	「中学生の探究活動 #フカマル」
7	「不登校児童の実態を知ろう」
8	「松江市の18歳・19歳の投票率を上げるために」
9	「これだから松江市は」を 「これだから松江市が」にするには
10	「新たなつながりから生まれる新たな未来」 異業種をつなげ地域に「生きがい」を創る

1 地域と連携したカリキュラムの開発

評価指標の開発「つきたい力」

東高生につけさせたい力 ルーブリック表							
地域共創人とは 「夢に向かって挑戦する人」 「地域社会の未来に向けて挑戦する人」 「他者と協働して新たな価値を創造する人」							
教育目標 (3つの力の育成)	「地域共創人」としてつけさせたい5つの力	5つの力を構成する要素	具体的な生徒の姿	Lv.1 (ほとんどできなかった)	Lv.2 (少しだけできた)	Lv.3 (わりとできた)	Lv.4 (かなりできた)
人間力	多文化協働力 (核となる要素①②③)	①自分を知る力	自身の個性を理解し、自己の在りたい姿に向け行動できる。	自分の強み・弱みがわからない。	自らの強み・弱みを踏まえた行動はできていないが、強み・弱み自体は理解している。	自らの強み・弱みを理解し、目標達成のために努力すべまことが分かっている。	自らの強み・弱みを理解し、目標達成にむけた行動ができる。
		②他者を受け入れる力	他者の発言や考え方を理解し、尊重や寛容ができる。	自分とは異なる考え方や意見が理解できない。	自分とは異なる考え方や意見を受け入れることはできないが、理解はできる。	自分とは異なる考え方や意見を理解し、受け入れることができる。	自分とは異なる考え方や意見と共通の目標にむかって協力して活動できる。
学力	主体的学習者としての力 (核となる要素④)	③主体的に行動する力	自ら進んで行動できる。	指示されたことを最後までやり抜けない。	指示されたとおりに行動できる。	指示されたことに自分なりの工夫を加えて行動できる。	自らやるべきことを見つけ、進んで行動できる。
		④諦めず追究する力	興味・関心のあることを納得がいくまで探ることができる。	自分の身の回りや社会のことに、興味や関心を持っていない。	自分の身の回りや社会のことに興味や関心を持っている。	自分の興味や関心に対してひとつの情報から考えを深められる。	自分の興味・関心に教の情報から、さまざまな視点で考えを深められる。
	探究的学習力 (核となる要素⑤)	⑤論理的に考える力	原因と結果・結論を結びつけて考えることができる。	原因と現在起こっている結果・結論とを結びつけて考えることができない。	原因と現在起こっている結果・結論とを結びつけて考えられる。	ひとつの要因から、これから起こる結果・結論を予測できる。	様々な要因から、起こる結果・結論を予測できる。
社会力	地域共創力 (価値創造力) (核となる要素⑥⑦)	⑥伝える力	相手に伝わるように自分の考えを表現することができる。	身近な人であっても自分の考えを伝えることは苦手だ。	身近な人に、自分の考えを伝えられる。	だれに対しても自分の考えを伝えられる。	だれに対しても、考えをわかりやすく伝える。
		⑦地域と関わる力	居住または生活している地域のために行動することができる。	地域に対して働きかけをしたいと思うことはない。	何をしたいかわからないものの、地域に対する働きかけをしたい。	地域の魅力や課題を理解し、地域の発展のために自分ができることを考えることができる。	地域の魅力や課題を地域発展のために参加している。
	社会的自立力 (キャリア形成力) (柱となる要素⑧⑨)	⑧自分の生き方を考える力	将来どのような人生を歩み、どう生きていきたいかを考えることができる。	将来のことを全く考えていない。	なりたい姿や就きたい職業は決まっていないが、将来を漠然とは考えている。	どんな人生を歩みたいかや、将来ありたい姿をイメージするための行動ができる。	どんな人生を歩み、将来ありたい姿を、そのために何を考えられる。

生徒の実態をふまえたうえで
「東高生につけたい力」を
教職員で協議・共有する機会の創出



2 学びを支えるコンソーシアム

中小企業家同友会

→参加企業等31団体による学びの支援



- 10.22 佐々木号、いま向かっております
- R3_26R_金見工務店 (6) 10.22 こちらこそどうぞ宜しくお願い致します！
- R3_25R_株式会社… (6) 10.22 こんにちは。曾田鐵工の大屋です。お世話になります。業務の関係で…
- W R3_25R_アサヒ… (6) 10.22 アサヒ工業の真重です。どうぞよろしくお願ひします🍀
- W R3_26R_カナツ… (7) 10.22 (ファイル)
- R3_24R_ビドルイン… (5) 10.21 ありがとうございます！
- W R3_21R_モルツ… (6) 10.21 ありがとうございます🍀
- W R3_24R_モルツ… (6) 10.21 返信遅くなってしまい申し訳ありません🍀 梶野こなつですよろしく…
- R3_25R_金見工務店 (6) 10.21 よろしくお願ひ致します
- R3_22R_有限会社… (6) 10.20 分かりました、考えてみます。
- W R3_23R_システ… (6) 10.20 はい！よろしくお願ひします。また何か質問がありましたら聞いてく…
- W R3_23R_株式会… (8) 10.20 メディアスコープの中尾です。よろしくお願ひします。

場が安全に、予算内で、工期内で完了するように管理しなければなりません。(今年入社した18歳男性は、高齢の職人さんと上手くコミュニケーションを取ることができず、苦勞しています。コミュニケーションが上手くとれないと、指示が伝わらず建物の質に影響がでてきますね。) また設計Gも同じく、学校を卒業し資格を取っただけでは知識経験不足です。改修工事などのリフォーム工事では知識経験、先輩社員のアドバイスが必須です。

既読 4 >
12:59

廣

総務部
古くから付き合いがあるお客様からの電話を1番初めに取る総務部は、「〇〇町の〇〇です。」と言われただけで、どんな関わりがあるお客様か、どの会社にお勤めの方が分かります。お客様としても、すぐに分かってもらえると嬉しいですし、安心にもつながります。これも伝承してきたい技です。

既読 4 >
13:04

廣

営業部
工事を依頼されたお客様のご要望を、何気ない会話や表情からの確に把握し、ご要望以上の対応をすることで顧客満足度に繋がるのですが、この巧みな技も入社してすぐに習得できる物ではありません。

既読 4 >
13:08

廣

長々と申し訳ありません🍀
全部署の技術が合わさって金見工務店が目標とする「地域No.1工務店」が実現していくと思います。伝承すべき技術って、座学のお勉強で伝えていくことは難しいのかもしれない…

既読 4 >
13:13

波

お忙しい中、返答していただきありがとうございます🍀 活動する上で参考にさせていただきます。今後も疑問に思った事などをお聞きさせて頂こうと思っておりますので何卒よろしくお願ひ致します。

既読 4 >
15:57

廣

こちらこそどうぞ宜しくお願い致します！

既読 4 >
18:05

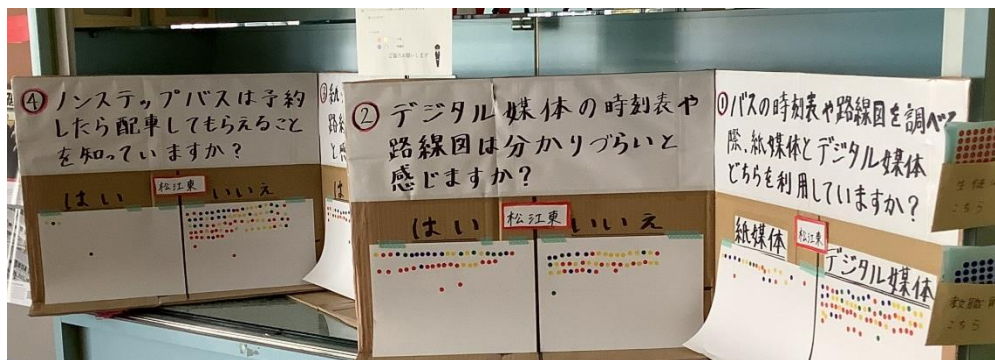
2 学びを支えるコンソーシアム

松江商工会議所

→「地域を笑顔にする」
プロジェクトの機会の
提供・支援



「キラ星共創プロジェクト」 (10組参加)

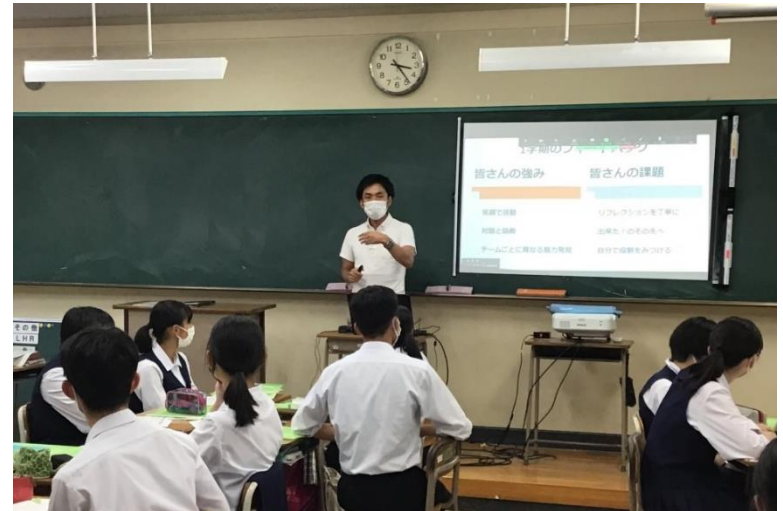


2 学びを支えるコンソーシアム

島根大学との高大連携の取組

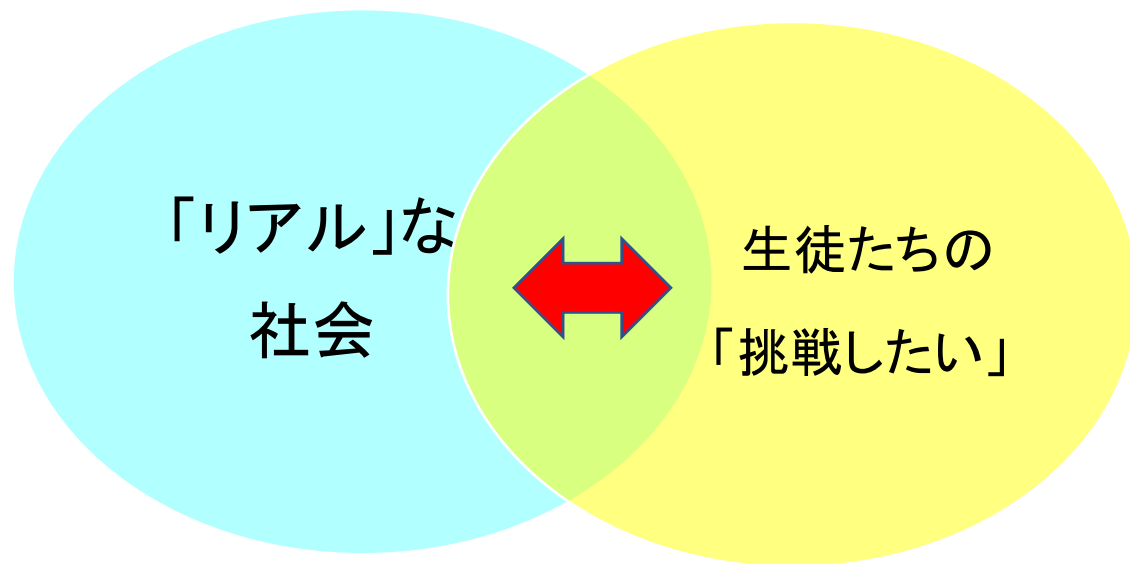
→ 「地域と連携した学び」にかかる
カリキュラム開発への指導・助言

→ 生徒に「学びのタネ」を持たせる
ためのプログラムへの協力



3 「地域共創人」を育てる ～地域における「人材育成」の拠点として～

「キラ星共創プロジェクト」の伴走者：
島根大学・島根県立大学等の学生たち



「キラ星共創プロジェクト」の実施者：
東高の生徒たち

地域共創人育成の
プラットフォーム

「キラ星共創プロジェクト」の参加者：
地域の小学生や幼稚園の子どもたち

まとめ

～「地域共創人育成Project」の成果として～

(1) 授業の中で「様々な大人」と出会う機会の創出

→ 生徒の主体的な地域・社会とのつながり

(2) 自分らしいライフデザインを実現する力の育成

→ 自らの生き方・あり方を模索しながら、
地域にアクションを起こしていこうとする力

(3) 子どもたちの学びを支援する地域の体制の充実

→ 地域の子どもたち(含 大学生)の学びを
ともに支援する体制 の充実



そのための「大人同士のつながり」の構築